

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習 —学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする—

話すこと・聞くこと部 研究主題

求めて関わり、自他の充実を目指す話し合い

第4学年国語科学習指導案

単元名 とどけ！わが町の〇〇のステキ ～かかわり合いながら話し合い、考えをまとめよう～

学習材名 (開発単元のため学習材なし)

第1会場 品川区立大井第一小学校 日時：令和8年2月20日(金)5校時 児童：品川区立大井第一小学校 第4学年梅組 28名 担任：品川区立大井第一小学校 教諭 利田 誠 指導者：品川区立伊藤学園 教諭 三葛木 葉	第2会場 台東区立松葉小学校 日時：令和8年2月20日(金)5校時 児童：台東区立松葉小学校 第4学年1組 21名 担任：台東区立松葉小学校 主任教諭 内藤 大介 指導者：台東区立黒門小学校 主幹教諭 濱 宗伸
--	---

1 単元の目標

- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕(2)ア
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

2 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)	①「話すこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 (A(1)オ)	①進んで、互いの意見の共通点や相違点に着目しながら話し合い、学習の見直しをもって、考えをまとめようとしている。

3 単元構想

(1) 児童について (児童観)

・第1会場

話し合う活動について、各教科のグループでの話し合いや学級会の話し合いでは、過半数の児童が自分の考えを伝えることができている。さらに考えを支える理由まで伝えることができている。また、互いの考えの共通点に着目しながら、グループの中で発言を促したり、問い返したりしながら話し合いを進めることができる児童も少なくない。一方で、自分が話したいという気持ちが強く、話している人に体を向けたり、うなずいたりしながら相手の話を聞くことに課題がある。また、自分の考えをもつことができても、恥ずかしさや自信のなさから発表することに苦手意識をもっている児童もおり、話し合いにおける発言量に偏りが見られることも課題である。そこで、本単元では相手を意識してより共感的に話し合いに参加する態度(構え)を養うとともに、話し合いの過程でどのような視点で分類や整理をしていけばよいのか、どのようにまとめていけばよいのかも指導していく。

・第2会場

話し合う活動について、各教科のグループでの話し合いや学級会の話し合いでは、過半数の児童が自分の考えを伝えることができている。振り返りでは、「話がそれないようにする」、「できるだけ多数決にならないようにする」、「みんなが出した意見を整理する」など、話し合いの進め方について理解を深めた。しかし、話し合いの中で出てきた、様々な意見をまとめることができる児童は少ない。また、「みんなが納得できる意見にする」という意識が少ないことが課題であると同時に、互いの意見の共通点や相違点に着目しながら話し合いを進めていく経験が乏しい。そこで、本単元では互いの考えの理由を合わせて意見を伝え合ったり、発言を促したり、問い返したりしながら話し合いを進め、まとめていくことの技能面を押さえていきたい。どのような視点で分類や整理をしていけばよいのか、どのようにまとめていけばよいのかを児童に考えさせ、指導していく。

(2) 学習材について（学習材観）

本分科会では、「目的を意識して、互いの意見を比べながら考えをまとめる話し合いを通して、関わり合うよさを生かそうとする」という児童の姿を重点目標に掲げている。この目標を目指し、児童が他地区の4年生に向けて自分たちの住む町の「〇〇のステキ」を紹介するために、紹介する内容について話し合い、まとめたことを伝え合うという学習材を設定した。これまでの生活経験や、生活科・社会科等での学習を想起し、「自分たちの町の〇〇のステキを紹介したい。」「相手の町のステキについて知りたい。」という相手意識、目的意識を持ち、積極的に互いの考えを伝え合うことができると考えた。

また、学習活動を通して「話し合いをすることで、自分では考えつかなかった町の〇〇のステキを見つけることができた。」「友達と話し合いをすることも大切だと思った。」など、話し合いの必要性を実感することができ、この充実感や経験が今後の児童の「話し合うこと」に対する主体的な態度や日常生活への活用につながると考えた。

(3) 単元について（単元観）

導入では、生活科や社会科での既習内容を想起することで単元や話題に興味・関心をもたせるとともに、他校の児童と「わが町の〇〇のステキ」を紹介し合うことを知る。そして、学級会や普段の話し合いの経験（上手くいったことや課題）を振り返りながら、単元のめあてを設定していく。また、単元のめあてを達成するための学習計画も児童と共に設定し、学習の見通しをもつことができるようにする。

第2時には、モデルとなる動画や台本を基に、話し合いの仕方や話し合いのポイントを確認する時間を設定した。話し合いのポイントを押さえる際には、「コツ（技能）」、「かまえ（非言語的な態度、共感などの情緒的な態度）」を児童に考えさせ、話し合いを進める上で身に付けたい力を意識させる。

「わが町の〇〇のステキ」についての話し合いは、児童が第1時以降に各自考えた、「わが町の〇〇のステキ」に対しての意見を基に、指導者がグループを設定する。第3時では、考えを出し合い、広げていく話し合いを行う。自分の意見と理由を伝えたり、互いに質問し合ったりしながら、さらに理由を付け足したりして一つの意見をより広げていく。第4時には、前時で広げた意見を整理し、まとめていく話し合いを行う。互いの意見の共通点や相違点を整理しながら話し合い、グループとしての考えをまとめていくことで、児童自身が考えの広がりや深まりを実感できるようにする。

課外時間では、グループで話し合ったことを基に、「わが町の〇〇のステキ」についての資料を作り、第5時で他校の児童に発表し、交流をすることで充実感や達成感を得ることができるようにする。第6時では、単元を通して「できるようになったこと」を確認させるだけでなく、日常生活に生かせることを意識させ、話し合ったことで身に付いた力について価値付ける。

4 研究主題に迫るために

低・中学年分科会提案

「目的を意識して、互いの意見を比べながら考えをまとめる話し合いを通して、関わり合うよさを生かそうとする」

(1) 「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる

話すこと・聞くこと部では、言葉による見方を「数ある言葉の中で、相手（対象）や目的、話題、聞き手に与える印象や聞き手の様子、話し手の意図や思いに即して使われた話し言葉の意味や働き、使い方に着目すること」と考えた。また、言葉による考え方を「聞き手の立場や思い、話し手の立場や思いに即して話し言葉の働きを捉え直したり、説得や推薦など目的に応じてどのような言葉を使うとよいかを比較・吟味し、言葉の意味や働きを問い直したりすること」と考えた。

本単元では、特に「互いの意見の共通点や相違点に着目しながら整理しまとめる」という点で、児童が

「言葉による見方・考え方」を働かせて話し合いを進めていけると考えている。話し合いでは、まず付箋に書いたそれぞれの意見とその理由を、話し合いボードに提示しながら進めていく。その際、児童がその理由に対して、自分の理解が不十分な時や、さらに詳しく問い直したい時に、「～は〇〇ということですか。」などと質問しながら、「言葉による見方」を働かせて、相手の意見についての理解を深めようとする姿を目指している。共通点や相違点に着目しながら整理し、まとめる段階では、話し合いの目的を常に意識しながら話し合いを進めるように指導する。その際、共通点や相違点の捉え方の違いで意見が分かれることも生じると考えられる。児童の「目的は〇〇だから、Aの意見の方がより伝わりますね。」など目的に立ち返ることを促す発言や、「AとBの意見の似ているところは〇〇だから、～とまとめることができるね。」など複数の意見を関連させてみる発言から、「言葉による考え方」を働かせて話し合いを整理し、まとめながら収束へ向かおうとする姿を捉えることができる。と考える。「言葉による見方・考え方」を働かせて話し合う、具体的な言葉や様子は(2)の話し合い台本に詳しく示している。

(2) 児童が(本単元において)身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める。

① 話し合いのモデル動画と話し合い台本の活用

本単元で身に付けたい力は、「目的を意識して互いの意見を比べながら話し合い、考えをまとめる力」である。特に、「意見を比べながら話し合う」、「考えをまとめる」という、話し合いにおいて児童が苦手と感じるところについて、話し合いのモデル動画や話し合いの台本を活用して、視覚的に分かりやすく指導する。さらに、話し合いのモデル動画や話し合い台本を何度も活用することで、話し合いの流れ、話し合いのコツ、話し合いの構えについて、児童自らの気付きによって学びを進められるような授業展開にした。

①意見を出し合う モデル動画

②出し合った意見を整理する ③考えをまとめる モデル動画



○ 話し合いの流れ

話し合いは、一つの話し合いの中に、①意見を出し合う(広げる)→②出し合った意見を整理する(比べる)→③考えをまとめる(まとめる)という3つ段階があると考えた。それぞれの段階に応じて身に付けさせたい力も異なるため、一つずつモデル動画、台本で示し丁寧に指導する。

○ 話し合いのコツ

各段階の話し合いのコツについて以下のように考えた。

①意見を出し合う(広げる)

→意見と理由を伝える、相手の意見に問い返ししながら意見を具体的にすること。

②出し合った意見を整理する(比べる)

→互いの意見を比べ、共通点や相違点に着目しながら、同じカテゴリーに整理すること。

③考えをまとめる(まとめる)

→いくつかの意見を合わせる、条件に照らして決める、理由の内容を比べて決める。

※③の段階について、動画では意見を整理した場面の後、「まとまらない場面」から「話し合いがまとまった場面」という展開になっており、「話し合いを通して考えをまとめていく場面」をあえて抜いている。そこで、話し合いを通して解決するために「自分たちだったらどうするか」をクラスに問う。児童の発言をもとに、上記のような「話し合いのコツ」をまとめていく。詳細は同項(2)③に記載している。

○ 話し合いの構え

話し合いは、前述した話し合いのコツだけでは成立せず、話し合う相手を意識してより共感的に話し合いに参加

する態度（構え）が必須であると考え。動画の児童役の言動には、相手の意見を「たしかに」「いいと思います。」と共感的に受け止める言葉や、「うなづく」「相手を見て聞く、話す」などの非言語的な側面も取り入れ、児童が意識できるようにした。さらに話合いの土台となる、言葉遣い等の態度面を丁寧なものにし、場に応じた話し方も捉えられるようにしている。これらは本単元の重点事項ではないが、低学年から積み上げてきた対話の力を、話合いの土台としていつも意識して行うことで、気持ちよく、仲良く、スムーズに話し合うために必要な力であることを実感できるようにしている。

①意見を出し合う（広げる） 第3時

		ポイント コツ 構え
A 司会	これから、「わが町のステキ」について話し合います。目的は、ほかのちいきに住む4年生に「わが町のステキ」をしょうかいして、「行きたいな。」と思ってもらうためです。 まずは、意見と理由を出し合みましょう。B さんからおねがいします。	目的を確かめる
B	わたしは、ヤマト神社についてしょうかいしたいと思います。理由は、夏にはお祭りがあり、友達と楽しむことができるからです。	意見と理由
A 司会	うんうん、たしかにそうですね。 ほかにありますか？	受け止め、うなづく（共感） 他にあるか聞く
D	わたしは、すずむし寺をしょうかいしたいです。	
C	どうしてですか？理由も言えますか？	問い返す
D	うーん、昔からあるものだから・・・。	
B	昔からあるってことだから、れきしがあるということですね。	相手の伝えたいことを確かめる
D	そうそう！れきしがある町ってことを伝えたいです。	
～話合いはつづく～		
A 司会	ほかにもタイヨウ水族館についてステキだと思う理由はありますか？	他に理由があるか聞く
C	Bさんが言っていたタイヨウ水族館には、カクレクマノミなどの魚だけでなく、アシカやペンギンもいました。たくさんの生き物がいることもステキなところだと思います。	理由の付け加える
A 司会	ペンギンがいるのは、めずらしいそうですね。ぜひ来てほしいですね。 ほかにありますか？	他にあるか聞く

②出し合った意見を整理する（比べる）③考えをまとめる（まとめる） 第4時

		ポイント コツ 構え
A 司会	出た意見を整理して、まとめていきたいと思います。まずは、整理したいのですが、どのようななかま分けができそうですか？	
B	スーパーやハンバーガー屋さんは、お店でまとめることができると思います。	共通点を見つけて整理する →「店」でなかま分け
D	お店っていうより、「べんり」っていうことがステキなことですね。だから、いつもたくさんの人でにぎわっているよね。	具体的に整理する →さらに「便利、賑わっている」と付け足す →話合いボードに書き込む
B	Cさんが言っていたように、ヤマト神社や、おはやし、かきこじぞうは「れきしある町」でなかま分けができそうですね。	共通点を見つけて整理する →「歴史ある町」でなかま分け
D	神社のおまつりでは、出店が出ているし、にぎわっているから、「店」のなかまに入れてもいいんじゃないですか？	
C	たしかに、お店は出ているね。だけど、おまつりは年に1回だし、「べんり」とは言えないですよね？だから「れきし」のなかま分けがいいと思います。	相手の意見も受け入れる 相違点を見つけて整理する
～話合いはつづく～		

A 司会	整理できたので、どのステキをしようか決める話合いに入ってもいいですか？	次にいってもよいか確認する
みんな	はい。	
A 司会	では、まとめる話合いに入ります。意見はありますか？	→「めくり進行」をめくる
B	わたしは、町のにぎわいが「わが町のステキ」だと思うので、商店街をしようかしたいと思います。	
C	でも、れきしある町の方がステキだと思うから、わたしはヤマト神社やおはやしをしようかしたいです！	
A 司会	(困ったな。どのように決めよう…。)	
児童が考える		
A 司会	わたしたちのグループの、「わが町のステキ」は、「 」だとまとまったので、「 」を紹介することに決まりました。ありがとうございました。	決まったことの確認

② 話合いにおける個人・グループのめあてと振り返り（身に付けたいカー一覧の活用）

第3時、第4時の話合いの前に、第2時で確認した話合いのコツや構えを基に個人のめあてを立てる。グループのめあては、単元に対するめあてに照らしながら全体で確認する。話合いの中間評価では、どのようなコツや構えを意識して「考えを出し合って、広げる話合い」や「考えを整理してまとめる話合い」ができたのか、再度めあてを意識できるように促す。

個人の振り返りでは、「意見と理由を伝えられた。」「問い返すことで友達の考えの理由が広がった。」「共通点を探して、同じ仲間整理することができた。」など、話合いのコツについての記述を特に取り上げ、全体で共有していきたい。また、友達の意見を共感的に受け入れるような態度（話合いの構え）ができていない児童を賞賛するなど、「話合いのコツ」と「話合いの構え」はどちらも話合いの両輪として大切であり、よりよい話合いには欠かせないことを指導していく。さらに、「コツ・かまえチェックシート」（身に付けたいカーの一覧）も活用しながら、児童自身が身に付いた力を自覚することができるようにしていく。「コツ・かまえチェックシート」は本単元が終わっても、活用してよいことを伝え、本単元で学習したことを今後も生かしていけるようにする。併せて、グループでの話合いはどうだったかを、全体のめあてに照らしながら互いに評価することで、話合いの段階に応じて話し合う力が高まってきたかを様々な視点から自覚できるようにする。

コツ・かまえチェックシート（身に付けたいカー一覧）



話合いのモデル動画と話合い台本に対応した話合いの「コツ」と「構え」

児童が振り返りの際に、自己評価を行い、達成したらシールを貼っていく。すべて達成できたら、指導者が大きなシールを中心の宝箱の上に貼る。
※「すべて達成したい」という児童には、学級会等、普段の話合いの際にも達成できたらシールを貼ってもよいことを伝える。

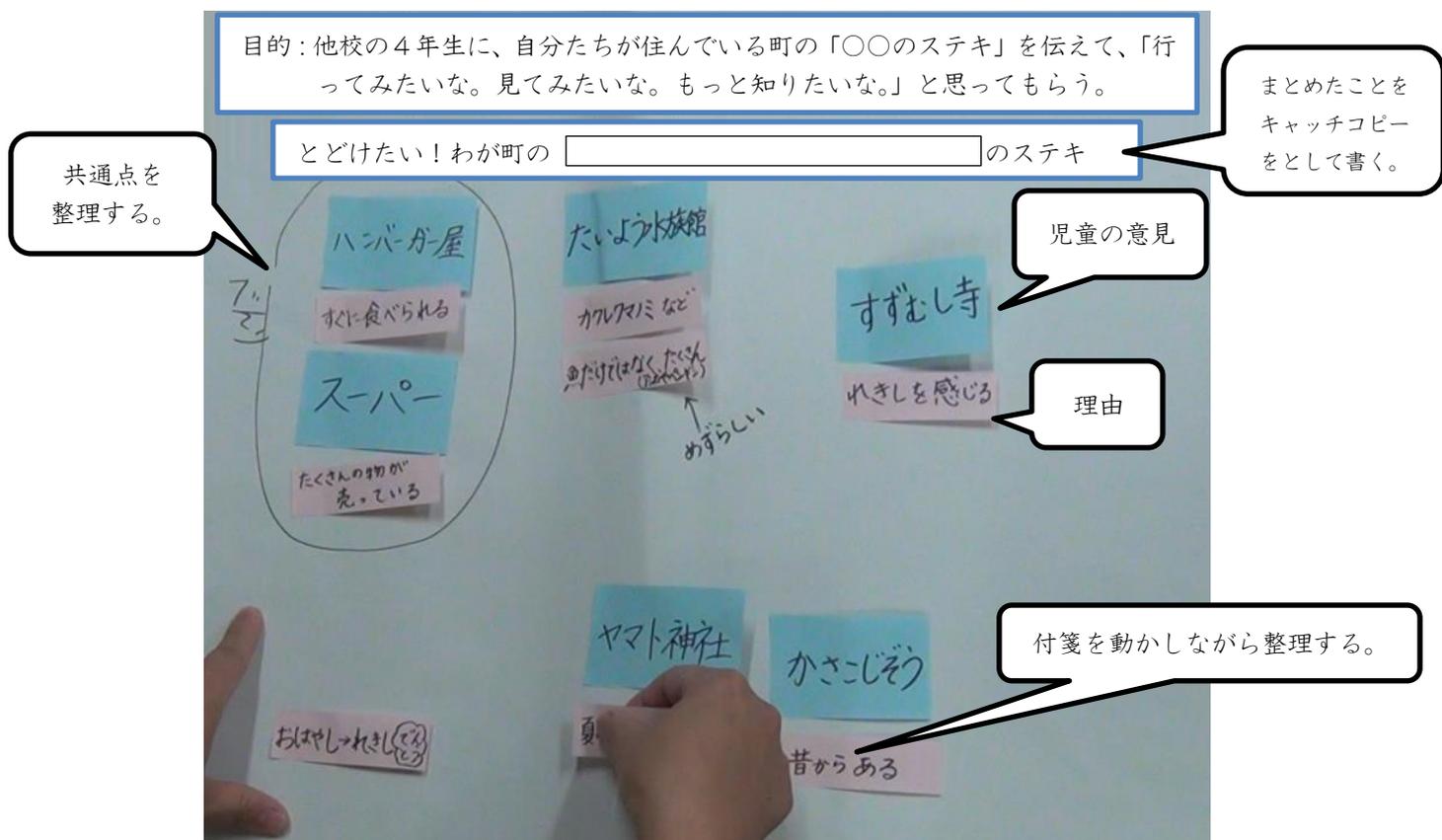
(3) 学習活動（言語活動）において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ他者と関わり協働する中で、新たな考えをもつ。

① ICTツールを活用

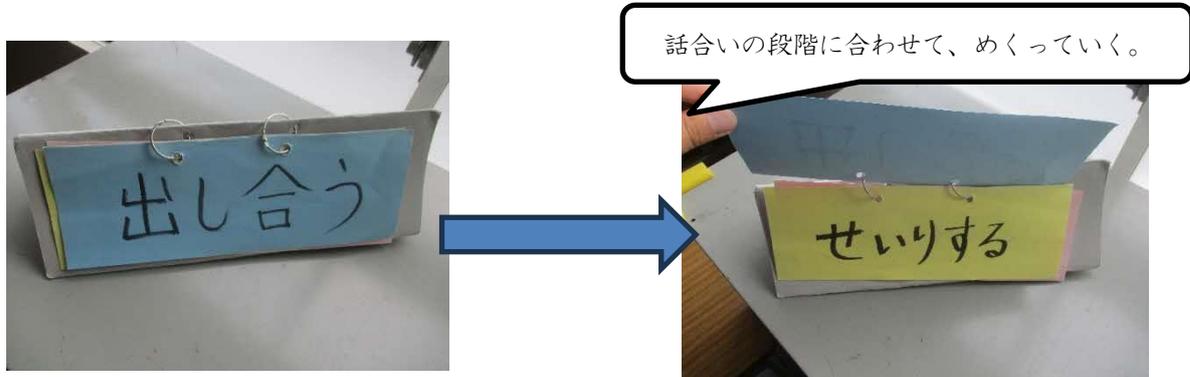
- 学習者用端末を用いて、話合いの様子を動画で記録し、児童の振り返りや指導者の評価に活用する。
- グループごとに「わが町の〇〇のステキ」を発表し、他校の児童と交流するために、ICTツール（zoom等）を活用する。他校の児童に直接質問したり、感想を求めたりすることができるため、児童が目的意識や相手意識を明確にして話合いを進めることができると考えられる。

② 話し合い活動を支える「話し合いボード」、「めくり進行」

○「話し合いボード」… 話し合い活動の内容を可視化し、互いの意見を比較・検討したり、整理したりするために、グループごとに活用する。個人の意見を書いた付箋をボード上で操作したり、付け足したことやまとめたことをメモしたりと、全員が話し合いの流れをいつでも確認できるようにする。また、話し合いボードには話し合いの「目的」、意識する「相手」、キャッチコピー等を記入し、児童が話し合いの途中で確認できるようにする。



○「めくり進行」… (1) ①で述べたように、話し合いを①意見を出し合う(広げる)→②出し合った意見を整理する(比べる)→③考えをまとめる(まとめる)という、3つの段階で指導していく。児童も指導者も、話し合いの進み具合が一目で分かるように、進行札を用意する。司会役の児童が、次の段階に話を移ってもよいかの合意を図りながら、札をめくり話し合いを進めるように指導する。



③ 共通点や相違点を比べながら互いの意見をまとめる話し合いのコツの揭示

本単元では、「目的を意識して互いの意見を比べながら話し合い、考えをまとめる力」を育む話し合いを目指している。「考えをまとめる」ことについては、多くの児童が課題と感じている点である。そのために、第2時に視聴するモデル動画の続きとなる「③考えをまとめる」話し合いの、「考えをまとめる方法」を児童と共に考えていくことにした。児童から出た考えを基に、以下の2つのまとめ方を示すことによって、目的や理由に着目してまとめることができると考えた。第3・4時の話し合いでは、話し合いの状況に応じて、中間評価（全体の学びの時間）を設け、以下のようなまとめ方をどのように用いたのかを取り上げ、共有していく。



(4) 獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

本単元を通して、児童は①意見を出し合う（広げる）→②出し合った意見を整理する（比べる）→③考えをまとめる（まとめる）という、話し合いの段階に応じて「話し合いのコツ」がそれぞれにあること、互いの意見を共感的に受け止める「話し合いの構え」によって互いの立場や意見・思いを大切に尊重することなどを学んできた。単元の終末では、「みんなで話すと自分の考えが広がるな。」「たくさん話して考えがまとまったな。」など、話し合いの充実感・達成感が児童の振り返りから見られることを期待している。

学校生活には、学習に限らず、休み時間の遊びのルール、学級での課題、行事に向けての準備等、様々な場面でみんなと話し合い、合意形成を図る機会がたくさんある。仲たがいすることなく、言葉の力を使って合意を図り、笑顔で解決することが求められる。その際、今回獲得した言葉の力によって、粘り強く積極的に「それぞれの意見を比べてみよう。」「互いのよさを合わせて、考えをまとめよう。」などと児童自ら話し合いを主導し、解決する姿が日常生活に表れてくると考える。このように、話し合いを通して関わり合うよさを学び、その学びを日常に生かすことで、豊かな言語生活を送る児童を育成していく。

5 単元計画（全6時間）

過程(次)	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
第一次 話題の設定・情報の収集	1	<p>1 これまでの生活経験や体験を想起し、自分たちが住む町にはどのような場所があったかを全体で共有する。</p> <p>2 他校の児童と「わが町の○○のステキ」を紹介し合うことを知り、話し合いの経験を振り返りながら、単元のめあてをつかむ。</p>	<p>○社会科や生活科での学習以外にも、日常の経験から想起できるようにする。</p> <p>○他校の地区の様子が分かる写真を提示し、「相手の町の『ステキ』についても知りたい。」と思うことができるように促す。</p> <p>○学級会の振り返りが書かれた学級会ノートや「話し合いチェックシート」を基に、話し合いの経験を振り返らせる。</p>	

単元のめあて

とどけ！わが町の〇〇のステキ
～かかわり合いながら話し合い、考えをまとめよう～

3 目的と伝える方法を確認する。

【目的】

他校の4年生に、自分たちが住んでいる町の「ステキ」を伝えて、「行ってみたいな。見てみたいな。もっと知りたいな。」と思ってもらう。

【方法】

スライドにまとめ、オンラインで発表する。(発表時間は3分)

4 単元のめあてを達成するための学習計画を立てる。

【児童と共に立てる学習計画】

① 単元のめあてと学習計画を立てる。

課外 「わが町のステキ」を考える。

② 話し合いの進め方やポイントを確認する。

③④ どのような「ステキ」を伝えるか話し合う。

課外 発表の準備をする。

⑤ 他校と交流する。

⑥ 単元の振り返りをする。

課外

○「わが町のステキ」について、情報を集める。
→保護者や地域の方、上級生や下級生にインタビューをする。
→実際にその場所に行ってみる。
→自分の経験や体験を想起する。

○集めた情報を基に、付箋に自分の意見と理由を書き、話し合いボードに貼る。

○話し合いのグループは、児童の意見等を参考にしながら指導者が決め、児童に提示する。

第二次

2

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

話し合いの進め方をたしかめ、話し合いのポイントを考えよう。

話し合い

2 モデル動画を視聴し、話し合いの進め方と役割を確認する。

○モデル動画は、「話し合いボード」を操作している手元も確認できるように編集

	<p>【話し合いの進め方】</p> <p>① 考えを出し合い、広げる。</p> <p>② 互いの考えを整理する。 →共通点、相違点に着目</p> <p>③ 考えをまとめる。</p> <p>【役割】 人数…4～5名(司会…1名)</p> <p>3 話し合いのポイントを考える。 【押さえたい話し合いの「コツ」】</p> <p>①広げるコツ ・つけ加える (「～さんにつけ加えて、私は～。」) ・問い返す (「どうしてそう考えたの。」) ・他にもあるか聞く (「他にも意見はありますか。」)</p> <p>②整理するコツ ・共通点や相違点を比べて、整理する</p> <p>③まとめるコツ ・共通点を見付けてまとめる。 ($A + B = AB$) ・目的に照らして選ぶ。 理由の内容を比べて選ぶ。 ($A \text{ or } B \rightarrow A$)</p> <p>【押さえたい話し合いの「構え」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うなずきながら聞く。 ・相手に聞こえる声の大きさで話す。 ・受け止める。(共感する) <p>4 本時の学習を振り返り、次時の個人のめあてを設定する。</p>	<p>し、使い方も併せて押さえ ていく。</p> <p>○話し合い台本を提示しながら、「コツ」と「かまえ」を押さえる。</p> <p>○「コツ」は赤色、「かまえ」は青色で原稿にサイドライン等を引き、視覚的に理解できるようにする。</p> <p>○押さえたい「コツ」や「かまえ」が児童から出なかった場合には、指導者から視点を提示し、児童が気付くことができるように促す。</p> <p>○次時の個人のめあてを設定する際には、「コツ・かまえチェックシート」から話し合いの「コツ」と「かまえ」を選び、ワークシートに記入するように指導する。</p>	<p>【知識・技能①】 ワークシート・発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの流れや意見の出し方、整理の仕方、まとめ方について理解しているかの確認。
<p>3</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>2 モデル動画と話し合い台本を確認し、話し合いの流れを確かめる。</p> <p>3 個人のめあてをグループで共有する。</p> <p>4 グループごとに話し合う。</p> <p>話し合い①考えを出し合い、広げる</p>	<p>○事前に司会や動画記録などの役割を決めておく。</p> <p>○どのような「ステキ」をつたえるか、考えを出し合ったり広げたりしよう。</p> <p>○どのように意見を出し合ったり広げていったりしたらよいかを振り返るよう促す。</p> <p>○学習者用端末を活用して話し合いの様子を録画するように指導する。</p>	

	<p>【予想される「ステキ」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社 <ul style="list-style-type: none"> →夏にはお祭りがある。 →昔からある建物。 ・展望台 <ul style="list-style-type: none"> →社会科見学で行ったときに、景色がきれいだった。 ・水族館 <ul style="list-style-type: none"> →たくさん生き物を見ることが出来る。 ・商店街 <ul style="list-style-type: none"> →たくさんのお店がある。 →お店の人たちが優しい。 <p style="text-align: right;">など</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いが滞ってしまっているグループが見られた場合には、一度全体の話し合いを止め、どのように進めていけばよいかを共有する。 ○話し合いが円滑に進行しているグループが見られた場合には、全体で共有し、価値付けていく。 <p>○個人のめあてに対する振り返り、本時のめあてに対するグループの振り返りをワークシートに記入するよう指導する。</p> <p>○次時の個人のめあてをワークシートに記入するよう指導する。</p>	<p>〔思考・判断・表現①〕 <u>発言・話し合いボード・ワークシートへの記述内容</u> ・話し合いのポイントやめあてを意識しながら活動できたかの確認。</p>
<p>4 本時</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どのような「ステキ」をつたえるか、考えをせいりして、まとめよう。</p> </div> <p>2 モデル動画と話し合い台本を確認し、話し合いの流れを確かめる。</p> <p>3 個人のめあてをグループで共有する。</p> <p>4 グループごとに話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;"> <p>話し合い②考えを整理し、まとめる</p> </div> <p>【予想される整理の仕方の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーや飲食店などを「お店」でまとめる。 ・公園や水族館などを「遊ぶ場所」でまとめる。 ・神社や伝統文化などを「歴史ある町」でまとめる。 <p>【予想されるまとめ方の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点を見つけてまとめる <ul style="list-style-type: none"> →整理した「遊ぶ場所」の中から、「駅周辺の施設」をステキとして紹介する。 ・目的に沿っているもので選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> →「便利」なことより、「歴史ある町」の中から自分たちの町にしかないものを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に司会や動画記録などの役割を決めておく。 ○整理の仕方や意見のまとめ方を振り返るよう促す。 ○学習者用端末を活用して、話し合いの様子を録画する。 ○話し合いが滞ってしまっているグループが見られた場合には、一度全体の話し合いを止め、どのように進めていけばよいかを共有する。 ○話し合いが円滑に進行しているグループが見られた場合には、全体で共有し、価値付けていく。 	<p>〔思考・判断・表現①〕 <u>発言・話し合いボード・ワークシートへの記述内容</u> ・話し合いの仕方やめあてを意識しながら活動できたかの確認。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 理由の内容を比べて選ぶ。 →神社のことだけでなく、獅子舞のことも紹介できるので、「歴史ある町」について紹介する。 		
		5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○個人のめあてに対する振り返り、本時のめあてに対するグループの振り返りをワークシートに記入するように指導する。	
第三次共有	課外	○話し合っただけで決まったことを全体で共有する。	○決まったことを共有する際には、「どのように決まったのか」という話し合いの過程も踏まえて共有するよう促す。	
		○話し合い活動の内容を基に、スライドを作成する。 ○発表の練習をする。	○「話し合いボード」を確かめながら作成するよう声をかける。	
	5	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">わがまちの「ステキ」をつたえよう。</div>		
		2 発表の流れを確かめる。 3 他校の4年生と交流する。 4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○ICT ツール (zoom 等) で交流を行う。 ○交流した感想を伝え合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【知識・技能①】 ワークシート・発言 ・それぞれのグループの発表が伝えたいステキとその理由になっているかの確認。</div>
	6	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">単元をふり返り、身についた力をたしかめよう。</div>		
		2 単元の学習を振り返る。 【予想される振り返りの例】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">できるようになったこと</div> ・話し合いをするときには、友達の意見に付け足したり、問い返したりすると、話し合いが広がっていく。 ・考えの共通点を見付けながら話し合うと、まとめることができる。 ・友達と町の「ステキ」を話し合っただけで、その「ステキ」が相手に伝わって嬉しい。 など	○振り返りの視点として、「できるようになったこと」、「これからの学習や生活で生かせそうなこと」、「楽しかったこと」の視点で振り返るよう促す。 ○第2時に押さえた話し合いの「コツ」と「かまえ」や話し合い①、②のときに撮影した動画、個人やグループの振り返り、課外活動で行った他校との交流を想起しながら考えるよう押さえる。	

これからの学習や生活に生かせそ

うなこと

- ・学級会で意見をまとめていくときには、目的に合ったものの中から決めていきたい。
- ・他の授業でも、友達と話し合うときには、問い返したり理由を聞いたりしていきたい。
- ・朝のスピーチなどでは、友達の発表をうなずきながら聞きたい。
- ・これからも町の「ステキ」などころをたくさん見付けていきたい。

など

楽しかったこと

- ・友達と町の「ステキ」を話し合い、何を紹介するのか決めていくのが楽しかった。
- ・他校の4年生と、町の「ステキ」を紹介し合うのが楽しかった。

など

3 単元の振り返りを全体で共有する。

○「できるようになったこと」、「これからの学習や生活で生かせそうなこと」の視点を重点的に取り上げ、学習したことをこれからの日常生活に生かしていくことの大切さを価値付ける。

〔主体的に取り組む態度

①〕

発言・ワークシートへの記述内容

- ・話し合いの進め方、司会の役割、意見のまとめ方などについて振り返り、学んだことを生かそうとしているかの確認。

6 本時の学習（4/6）

（1）本時のねらい

話し合いの目的や進め方を確認し、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えを整理したりまとめたりすることができる。

（2）本時の展開

学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○事前に司会や動画記録などの役割を決めておく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> どのような「ステキ」をつたえるか、考えをせいりして、まとめよう。 </div>		
2 モデル動画や話し合い台本を確認し、話し合いの流れを確かめ、グループの話し合いのめあてを全体で設定する。	○意見の整理の仕方やまとめ方を振り返る。	
【想定されるめあての例】 ・共通点を見つけて、考えをまとめよう。		
3 個人のめあてをグループで共有する。 【想定されるめあての例】 ・共通点を見付けながら、考えを整理する。(コツ) ・目的に合った意見の中から、何を紹介するか決める。(コツ) ・相手に聞こえるように話す。(構え) ・うなずきなら聞く。(構え)	○学習者用端末を活用して、話し合いの様子を録画する。	
4 グループごとに話し合う。 話し合い②考えを整理し、③まとめる 【予想される整理の仕方の例】 ・スーパーや飲食店などを「お店」でまとめる。 ・公園や水族館などを「遊ぶ場所」でまとめる。 ・神社や伝統文化などを「歴史ある町」でまとめる。 【予想されるまとめ方の例】 ・共通点を見つけてまとめる →整理した「遊ぶ場所」の中から、「駅周辺の施設」をステキとして紹介する。 ・目的に沿っているもので選ぶ。 →「便利」なことより、「歴史ある町」の中から自分たちの町にしかないものを紹介する。 ・理由の内容を比べて選ぶ。 →神社のことだけでなく、獅子舞のことも紹介できるので、「歴史ある町」について紹介する。	中間評価（全体の学びの時間） ○話し合いが滞ってしまっているグループが見られた場合には、一度全体の話し合いを止め、どのように進めていけばよいかを共有する。 ○話し合いが円滑に進行しているグループが見られた場合には、全体で共有し、価値付けていく。 ○特に、どのような話し合いのコツや構え、まとめ方等を使うとよりよい話し合いができるのかについての意見を取り上げ、共有できるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> [思考・判断・表現①] <u>発言・話し合いボード・ワークシートへの記述内容</u> ・話し合いの仕方やめあてを意識しながら活動できたかの確認。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <u>[言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿]</u> ・目的に応じて言葉を選択しながら友達と関わり、考えを整理したりまとめたりしながら、話し合い活動に参加している。 </div>
5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○個人のめあてに対する振り返り、本時のめあてに対するグループの振り返りはワークシートに記入する。	